

謹賀新年

江口委員長新年の挨拶

組合員・家族の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。

日頃より、鹿児島地方本部の運動に對しまして、ご理解とご協力を頂き感謝を申し上げます。

また、日々「安全」「安定輸送」に對しまして奮闘されている組合員と、それを支えておられるご家族の皆さまに敬意を表します。

その年の世相を表す漢字に、昨年は災害の「災」が決定したように、昨年も北海道や大阪での地震、そして西日本豪雨や、度重なる台風上陸など多くの自然災害に見舞われ多くの尊い命が奪われました。改めてお亡くなりになられた方々のご冥福と、現在も避難生活されている多くの被災者の皆さまにお見舞い申し上げます。

私たち鉄道業界においても、自然災害による橋りょうや土砂流入・流出による鉄道施設の甚大な被害からの早期復旧が求められており、地域の人々の生活の足としてのライフラインを守り、維持をしていくために、全組合員が通夜を問わず奮闘をいたしております。

そのような状況の中、昨年の春闘においては、組合員・家族総がかりの取組みにより4年連続となるベースアップ「社員300円」「地域社員2

00円」と夏季手当2・5ヶ月分、プラス一時金5万円の解答を引き出し、労働協約の改定においては、新入社員等の年休付与日数等や、組合員の健康管理や子育て支援に資する項目、指令長手当て等を改善・新設する事が出来ました。また、要求実現には至らなかった嘱託再雇用社員の「期末手当A」の改善についても年末手当に向けて真摯に協議をしていく事を示した事により妥結を行ないました。

年末手当交渉においては、現場で働く組合員がお客さまの生命・財産を守り「安全」「安定輸送」に昼夜を問わず奮闘し、お中元・お歳暮等、日頃からの増収活動に協力してきたからこそ、今日のJR九州が有ると言っても過言ではなく、その成果配分として、年末手当3・0ヶ月と55歳以上、60歳嘱託再雇用社員への加算措置を強く求めてきました。が、会社は相次ぐ豪雨や台風による自然災害等により、非常に厳しい収入状況にあり、この先の経営状況が不透明である事を勘案して、慎重にならざるを得ないとの、厳しい姿勢を示す中、中央本部においては最後まで粘り強い交渉を行なうも、必ずしも満足のいく回答とはならず、残念ながら、組合員の皆さまの希望に沿えなかった事にお詫び申し上げます。新しい年を迎え、まずは2019春闘におきまして5年連続となるベースアップを勝ち取り、夏季手当や賃金制度改正の改善に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、2019年春ダイヤの一部修正の詳細提案については、「川内駅ホーム要員の見直し」「乗務員の運用の持ち替え」「旅行事業本部の見直し」等や、提案事項ではありませんが、新幹線における車内販売の中止も計画されるなど、多くの効率化提案が提案されました。現在、関係分会において要求項目を集約しており、集約精査後申し入れを行ない改善に向けて交渉を重ねて参ります。

最後に昨年は、安倍自民党を中心とした与党により「働き方改革法」や「統合型リゾート整備推進（IR）法」「改正入管難民法」など、国民の声に耳を傾けず、形式だけの議論に終始した、見切り発車的な法案成立を強行して参りました。私たちの将来や子供たちの未来の為に、国民主権の政治を取り戻すことが必要であり、7月の参議院選挙で安倍自民党に鉄槌を下さなければなりません。私たち鹿児島地方本部は、当面4月に施行されます鹿児島県議会選挙において、既に推薦を決定しております。福司山宣介候補の当選に向けて取り組んでまいります。



お正月あるある

いっぱい食べて



のんだくれて



しんだみだいに寝て



しごとに



2019年もよろしくお願ひ申し上げます！

執行委員長	江口洋一
執行副委員長	前原弘志
執行副委員長	川畑清巳
執行副委員長	日高光英
書記	上反屋浩二
執行委員	青木幹雄
執行委員	後藤芳寿
執行委員	夏迫貴康
執行委員	久富祐介
執行委員	中野みき
執行委員	武内大樹
執行委員	吉留理恵
執行委員	佐藤壯志
執行委員	梅津直也
青年女性委員長	長崎裕斗
会計監査	湊和人
会計監査	松下智昭
職員	日高美佐子
職員	下徳美千代
職員	福元あい子
地方本部後職員一同	

2019年新春ボウリング大会開催！

●鹿児島地区●
 日付：2019年1月28日（月）
 時間：18:30 受付（18:45 開始）
 場所：T-MAX

●宮崎地区●
 日付：2019年1月29日（火）
 時間：18:00 受付（18:15 開始）
 場所：エースレーン

ご参加お待ちしております！